

お仕事紹介シリーズ

その3

クッキー・パン グループ



私達クッキー・パングループは、「毎日クッキーを作りたいよ」「パンも焼いてみたい」という、あふれる希望を実現させようと吉島の地で新たなスタートを切りました。と言うのも

無認可時代は、西区にある社協の調理室を借りて週三日、そこに通いながらクッキーを作っていたのです。今は、大きなミキサーを使ってクッキーやパンの生地を作ったり焼く時もタンクのようなとても大きな業務用のオーブンを一つ一度にたくさん焼くことが出来るようになりました。おかげでクッキーの種類も増えました。

- もみじのクッキー エトセトラ**
- オリジナルクッキー**
型抜(プレーン・ゴマ・ココア)クッキー、しほり出しクッキー
 - アーモンドせんべい**
バターを使わない和風クッキー
 - さつまいもでできたクッキー**
アトピーの人が食べても大丈夫
 - オートミールクッキー**
くるみ・アーモンド・オートミールが入りミネラルたっぷり
 - チョコレートクッキー**
さつくりした口当たり
 - ブラウニー**
ラム酒が入ってちょっぴり大人の味...一口サイズのケーキ風



そして志願だったパン作りに取りかかりました。専門の先生に教えていた

パンを教えていただき現在は現在八種類作っています。(食パン、ブドウパン、チーズパン、卵パン、丸パン、あんパン、くるみパン、ごまパン)毎日食べてもあきないような、もっともつと種類を増やしていきたいと思っています。

営業もがんばります

心こめて作ったクッキーやパンの販売という定期販売先として週一回の月・ろう学校、火・西福社事務所、水・市立養護学校、金・広島市役所の他、個人のお客さん、又、付きに一回定期的に大量に買って下さる、佐伯区の「のんきな母さん」等があります。地域のスーパー「アール吉島店」にもクッキーを置かせてもらっていますし、多くの団体や作業所関係者などにも利用していただいています。そして、近所の方が直接作業所に買いに来て下さるのも嬉しい事です。

体にやさしい 原材料

ところで、もみじのクッキーやパンを紹介する上で忘れてはならないのが、原材料です。体に優しい、安心して食べられる「材料」を選んでいこうと言うモットーで、不安な添加物や農薬を避けるため、できるだけ国内産のものを採り、小麦粉は一昨年の夏から北海道産の物を使っています。まだまだ学習不足ですが、その他の材料についても検討しつつ、より良いものにして行きたいと話合っています。

清潔に 心がけて

又、食べ物を扱う仕事柄、衛生面にも気を使います。手洗いはもちろん、マスクの着用、頭巾、エプロンなど毎日の洗濯、週に一度の下さるのも嬉しい事です。



●オリジナルクッキーのしほり出しと型抜き
一つ一つにねいに並べます

私の一言

コーナー

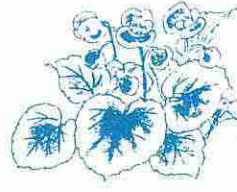
保護者会

箱上志都子



強く美しく? 生きよう

胸をなでおろす瞬間です。入所して早いもので四年を迎えようとしています。はじめの二年間は小河内もみじで、冬は冷房、夏は暖房完備。今思えば、よくみんながんばったものです。そんな中で、仲間や先輩のお母さん方、指導員の先生方、また周囲の大勢の方々の熱い思いと御苦勞、御協力、で、つかい夢が本物になりました。少しの期間でしたが、私達親子も街頭募金、ともだちコンサート、出店バザー等々をはじめた経験がいつか思い出になります。養護学校在学中は、まだまだこだわりの強く、卒業しても作業所へ行けるかどうか不安でしたが、みなさんに見えて来て、よく見てみるとさつまいもの皮だつたという事も...



今までに一度の通所拒否もなく、帰ってくるたびに翌日の用意をしておくように私に言いつけます。雅子にとってもみじ作業所は居心地のいい(いねむ)所です。

もみじ福祉会 行事 日誌

11月

- 3日 障害児こどもまつり出店
- 4日 中区福祉事務所見学会
- 6日 広島養護学校文化祭出店
- 11日 中区福祉集会出现・出店
- 13日 障害児こどもまつりコンサート
- 14日 松翁会 贈呈式
- 17日 江田島女性会見学会
- 18日 江田島たんばろ学級見学会
- 19、20日 共作連中国ブロック集会
- 20日 広島市総合相談センター 20周年記念集会出现
- 21日 広島市中学校教育研究会 障害児教育部会見学会
- 22日 吉島小学校6年生との交流会
- 25日 明ひかり協会広島事務所 見学会



はじめに兵庫県南部地震の被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

特に、尊い命を落とされた皆様に哀悼の意を表します。

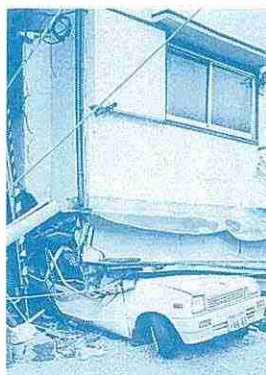
障害者作業所関係の被害も甚大で、被災地域内の131施設の内、全壊12カ所、再開不可能17カ所、閉所が22カ所、損壊多数などとなっており、また、利用者16名、職員2名、家族15名が亡くなりました。今もって多くの仲間・家族・職員が作業所での避

市内の電柱にはられた「障害者救援情報」のビラ。現地支援センター等の連絡先や緊急入所情報等が掲載されている。



私たちにできる
ことではないかね

震災発生以降、もみじ作
業所の仲間も、ニュースを
見る度にいろいろと心を痛



親も職員も

されました。仲
され、既に二回に渡つて
れが考え、ある仲
「障害者支援センター」に
の給料1万円を全
送りました。

※写真は共同作業所
みのり・久保所長 写

中にも話題にのぼってきました。

そんな中、前述の共作連速報をはじめ、諸団体から障害者の作業所や施設の状況報告が続々届き、私たちに

さっそく自治会で話し合われ、「自治会として募金を集めようや」「募金を神戸の仲間を送って、6月に広島で開かれる共作連全国集会にきてもらおう」「いや、作業所の建て直しに使ってもらおう」などの意見が出ました。

部募金しました。

また、木曜日午後の「生活活動」の時間を使って、仲間全員で街頭カンパ活動を行うことも決めました。

一方、「地震について勉強しよう」と、この時間を使って消防署から借りてきたビデオで学習もしました。

ます。



常時一、二名のボランティ
アさんとで仕事を分担して
います。生地作り、パン丸
め、クッキーの型抜き、袋
詰め、シール張りなど、仕
事はたくさん！それぞれ役
割が決まっていて、朝の会
が終わると自分で道具を準備



●さつまいもの裏ごし。小麦粉のかわりに使います

計量、ミキサーを使つての生地作り、袋詰め作業など、全て職員・ボランティアさんの仕事でしたが、今では仲間達も加わつて分担しています。

に挑戦した人が、始めの頃はなかなか生地を優しく包むような手の形（猫の手ニヤンニヤンと呼んでいる）ができず、緊張でカップのように開いた手で生地を押

チャレンジ
精神は
成功の素

みんながクッキーやパン作りの仕事が大好きで、「○やって見たい」という気持ちを大事にしてチャレンジろうと、まわりは不安顔。それでもあきらめずに、本人もみんなも頑張ること一年半。現在はどうでしょう。

してみます。何度か失敗もしますが、まわりの励ましや「上手になりたい」という本人の意欲で、やがては成功につながっていきます。そうして「自分の力で出来た」と言う気持ちがい自信に

今年の夏祭りの時に作った詩（もりのくまさんの焚歌）がクツキー・パンダ

お願い

この「がんばろうや」をお読み頂いている皆さん、ぜひ、共作連救援募金に協力頂きますようお願いいたします。

この募金は主に被災者の生活支援、また被害のあつ

ご協力頂ける方は、直接以下の口座にお振り込み下さい。(3月末日切です)

募金振込先

郵便振替口座
00140-5-661693
口座名義
共作連・兵庫県南部地震救援募金

「ありがとう」のきもちをことばに...

ループの団結には欠かせません。最後にこの替え歌を紹介します。

月もみじのクッキー・
パンをよろしく！」

①エプロンに頭巾にマスクに手洗い
ピカピカピーカピーカ
りー掃除に洗濯も
②体に良いものを、材料
に気をつけて
元氣モリモリ、おい



この歌には素敵な振りもついています。いつか機会があれば、ぜひまた、ご披露したいと思っています。今後ももみじのパンとクッキーをよろしくお願いします。

29日 広島市授産振興センター総会

1日 FMW(株)プロレス招待
8日 共作連理事長・理事交流会議
16日 中区社協・吉島公民館見学来所

18日	吉島小学校6年生見学来所 灯の会クリスマス会招待
21日	吉島小学校6年生見学来所

22日 もみじ作業所クリスマス忘年会
27日 仲間納会

28日 職員納会

5日 仕事始め、初詣

20日 共作連全国集会フレ企画
ミュージカル「アンデルセン物語」

当日は都合がつかず残念ながら来られなかった方には後日改めて渡しました。
送迎バス運転手さん
立川さん
ポランティアさん

浜本さん
本当にいつもありがとうございます。
ございます。そしてこれからも
宜しくお願いします。

● なかまが考えた
手作りの
感謝状です

暮れも押し詰まった十二月二十二日、自治会主催のクリスマス&忘年会の場で日頃お世話になっている方々に仲間の手作りの感謝状を送りました。

灯の会 藤田さん
送迎バス運転手さん 間賀田さん
ボランティアさん 石川さん
日切さん
戸田さん
福田さん
古川さん

僕は浜本八収さんの坊主頭が好きです。
僕は八収さんのコンバーチブルな車椅
好きです。
これから字品からビュンビュンと走る
車椅子でいて下さい。
今年一年お世話になりました。
また新しくなったら早く来て下さい。
来年どうぞよろしくお願い致します。

かんしゃじょう
古川さま
さうじありがとう
ごさいます
いそそうげいありがとう

●なかまが考えた
手作りの
感謝状です

一九九五年六月三・四日、広島グリーンアリーナ



好きなんじや
すてきな仲間と
このヒロシマガ...

—大会テーマ—

ります。この後、ひとは作

人施設が県内で三カ所にな

共作連全国集会をぜひとも

事務局員の河上です

されながらも、今年で法人化四年目、認可施設開設三年目を迎えます。また、今年は、私たちの仲間であるくさのみ作業所も認可施設としての第一歩を踏み出します。これで、共作連加盟の法人施設が県内で三カ所になります。この後、ひとは作業的権利保障の運動を、無認可時代に培った柔軟な発想と、法人施設の公的地位、そして共作連の共同の力で前進させていきたいと思います。

◆そのためにも、今年六月に広島で開かれる、第18回共作連全国集会をぜひとも成功させたいものです。ね！